

Pick up!

## 輝く男性の家事・子育て体験記

～私達家族の日常～

会社員 O・H

我が家は私と妻と息子の3人家族です。妻は今年の春に息子が1歳になるタイミングで職場復帰しました。復帰後は私が保育園の送り迎えを行った方が色々と都合が良く、そのため私の短縮勤務取得を考え始めました。ですが、私の職場では男性の短縮勤務取得は珍しく、制度として存在はしていても、現実問題として職場で受け入れてもらえるか不安な気持ちがありました。しかし、職場の上司に相談したところ、幸いなことに快い返事を頂け同僚達からのサポートもあり、私は安心して短縮勤務をスタートさせることが出来ました。



日々の生活ですが、定時で仕事を片付け保育園にお迎えに行きます（短縮勤務のため時間外勤務は免除してもらっています）。家へ帰ると、帰宅した妻が夕食の用意をしてくれていますので、家族で食卓を囲みながら保育園への送り迎えでのちょっとした気づきを話したりします。食後の片付けを私が行い、その間妻は明日の保育園の準備をしたり、子供と絵本を読んだりして過ごしています。その後、私がお風呂へ入り、就寝という感じです。

家事の分担は決めずその都度出来る人がするようにしています。妻が仕事で遅くなる時は、私が晩ご飯を作りますし、妻が保育園に子供を迎えに行くこともあります。毎日の生活の中で自然と役割のようなものが出来てきますが、あくまで家事は家族皆が取り組むべきだと私は考えています。そうすればやってくれた相手に、自然と感謝の言葉やねぎらいの言葉が出てくるものだと思います。子供にも出来る範囲でお手伝いをしてもらい、小さな自分も家族の重要な一員であることを自覚してもらいたいと思っています。最近では、読み終わった絵本を片付けたり、ゴミを見つけてゴミ箱に捨てたり、大人の真似をして箒で床をはいたりするようになってきました。息子なりに自分が出来ることを見つけて行動してくれており、嬉しい気持ちで見守っています。最終的には料理は三人が交代で…というのが理想ですが…。

私はこのような毎日を過ごしていますが、もしも短縮勤務を取得していなかったら、息子が寝たころに帰ってきて、そっと家に入る日々だったかもしれません。

子育ては想像以上に疲れますが、子供のほんの些細な成長でも実感すると感動します。子育てに深く関わることで、夫婦での育児に対する意識や考え方を共有しやすくなったように思います。とは言え、私達の子育てはまだまだ続きます、これから先、「こうであるべき」、「普通は〜」「父親は〜母親は〜」という固定概念に捉われることなく、自分の家族の状況にマッチした選択をしたいと思っています。

最後に…。子育てをしていると一日が駆け足で過ぎていきます。自分だけの自由な時間がなかなか持てません。しかし、日々通りすぎる日常は新鮮で色鮮やかになったと私は感じています。

(平成29年11月9日作成)

